

あいち自動車産業イノベーションプラン

愛知県産業労働部

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

Aichi innovation plan for the automotive industry

Department of Industry and Labor, Aichi Prefectural Government

3-1-2 Sannomaru, Naka-ku, Nagoya 460-8501

It is aimed to form groups of excellent companies in the field of next generation technologies as well as realization of novel automotive society with reliable, safe and comfortable technologies through industrial revolution of existing automotive technologies in Aichi Prefecture.

We, Prefectural Government, will strongly assist innovative actions necessary for the planned kick-off of commercialization of fuel cell vehicles to general users in 2015.

Keywords: innovation plan, automotive industry, Aichi prefecture, EV(electric vehicle), FCV

1. 愛知県における自動車産業

愛知県は、我が国のモノづくりの拠点として、長年にわたり、国内の他地域を大きく上回る製造品出荷額等のシェアを占めてきています。

特に、自動車産業は、県内製造品出荷額等の49%を占めるほか、従業員数でも32% (2010年度) を占めており、本県の産業・雇用の基盤を支えています。自動車産業の動向が県経済全体に与える影響は極めて大きいと考えられます。

近年の激変する経済社会環境を踏まえ、基幹産業である自動車産業の持続的成長を図ることは、愛知県経済の未来を切り拓くためにも大変重要な課題です。

2. あいち自動車産業イノベーションプランの枠組み

あいち自動車産業イノベーションプランは、県内自動車産業の課題に対応するため、「自動車技術を進化させ、次世代分野に対応する強固な企業群の形成」と「安心・安全で快適な新しい自動車社会」の実現を目指します。

本県は、今後とも、自動車産業が経済の基盤を支えると考えられることから、自動車産業に軸足を置きながら、その他の成長分野における新産業の育成・振興や新しい自動車社会の実現を目指すこととし、本プランのキャッチフレーズを「『脱自動車』ではなく『自動車+α』」

とします。

計画期間は2012年度から2020年度までの9年度間とし、中期的な政策目標を掲げる一方で、2015年度までを想定し、短期的な政策目標も掲げ、当面の施策を展開します。

具体的には、政策目標達成のために必要な「地域産業のイノベーション」と「社会環境のイノベーション」の「2つの変革」を実現することを目指し、各種施策を実施するほか、その基盤となる支援体制を整備するとともに、「自動車王国愛知」にふさわしい「クルマ文化」の醸成にも努めます。

中期的な政策目標（～2020年度）

◎自動車を含む製造品出荷額等

→ 40兆円に回復・維持・拡大

◎次世代自動車の普及

→ 新車販売台数（登録車）の60%

（国の目標に10%ポイント上乘せ）

3. 変革1. 地域産業のイノベーション

自動車部品関連の中堅・中小企業の新分野・新市場進出の成否は、「技術」と「人材」にかかっており、当地における次世代自動車の普及及びそれによる新しい自動車社会の実現においても、「技術」と「人材」が重要な役割を果たします。特に、中堅・中小企業には、自社のコア技術をもとに、多様化する自動車ニーズに対応する

戦略を持って、企業経営を行うことが期待されます。

そこで、2011年度から供用を開始した「知の拠点」や「名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター」等の産学行政の連携施設を中心として、地域が一丸となり、「コア技術開発の支援」と「中核人材の育成」に係る各種施策を実施します。また、海外市場への進出の円滑化・支援や関連産業の誘致を推進し、自動車産業の強化に努めます。

短期目標（～2015年度）

- ◎自動車分野における中堅・中小企業への技術指導・相談 → 2015年度末までに延べ60,000件
- ◎「知の拠点」重点研究プロジェクト（加工技術）で開発する次世代自動車等の分野に関する製品・試作品 → 2015年度末までに10件
- ◎次世代自動車に対応する人材育成講座の受講者 → 2015年度末までに延べ3,200人
- ◎モノづくり応援ファンド等による支援 → 2015年度末までに40件
- ◎産産連携グループの活動支援 → 2015年度末までに4グループ
- ◎次世代自動車分野の企業誘致 → 2015年度末までに10社

4. 変革2. 社会環境のイノベーション

地球温暖化問題の高まりやエネルギー制約から、HV、PHV、EV、FCVといった次世代自動車の普及が進んでいます。自動車の電動化の進展に伴い、自動車は、単なる移動手段としてだけでなく、エネルギー端末や情報端末としての機能も注目され、その結果、新たな自動車周辺のソフト・サービス産業が拡大することも期待されます。

そこで、次世代自動車の更なる普及を視野に入れ、スマートグリッドやITSを活用した自動車社会をいち早く実現するため、次世代自動車の普及に資するインセンティブの充実、インフラ整備の促進、新技術・新サービス実現のための社会実証実験等の取組を推進します。

短期目標（～2015年度）

- ◎一般開放型充電設備の設置数 → 2015年度末までに県内に600基設置
- ◎水素ステーションの設置数 → 2015年度末までに県内に20基設置
- ◎公用車へのPHV・EV導入 → 2015年度末までに県内全市町村導入

○ FCV・水素ステーションの普及の促進

2015年から始まるFCVの一般ユーザーへの販売開始に向け、FCV用水素ステーションの整備を促進するとともに、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、水素供給・利用技術研究組合等が行う水素ステーションを活用した実証実験を支援します。また、FCV、水素ステーションに対する認知度・理解度向上を図るため、企業、県民等を対象とする普及啓発活動を行います。

こうした取組を進めるために、2005年7月に企業と行政が一体となった「あいちFCV普及促進協議会」を立ち上げ、愛知県内における水素エネルギー社会の実現を目指して様々な活動をしています。

＜あいちFCV普及促進協議会の構成メンバー＞

- ・行政：愛知県、豊田市、常滑市、東海市、知多市、中部経済産業局、中部運輸局
- ・企業：新日本製鐵（株）、大陽日酸（株）、中部国際空港（株）、東邦ガス（株）、トヨタ自動車（株）

5. イノベーションを支える環境の整備

愛知県の自動車産業が、今後とも我が国経済の成長エンジンであり続けるためには、中堅・中小企業が次世代自動車にも対応する部品生産に軸足を置く一方で、自らの技術に磨きをかけ、ロボット、航空宇宙や環境・エネルギーなど、成長が期待できる新分野に対応するとともに、海外を含めた新市場に果敢に進出していくことが必要です。

そのためには中堅・中小企業が意識を変え、新たに何を作り、どこに売りに行くかといった戦略を描く、そして、行動を変え、試作品の作成や新市場の開拓のための営業活動にトライし、マスコミへの露出や補助事業への採択などの「小さな成功例」を積み上げることが重要です。

県は、こうした中堅・中小企業の「挑戦」を強力に支援する仕組みを整備します。

参考

あいち自動車産業イノベーションプラン

<http://www.pref.aichi.jp/0000049118.html>